

道東太平洋沖の流速場（2017年08月 海況速報No.177付記）

2017/08/16

中央水産試験場 海洋環境G、釧路水産試験場、函館水産試験場

釧路水産試験場所属試験調査船「北辰丸」による、流れの調査結果をお知らせします。（水温観測結果は「北辰丸」および、函館水試所属「金星丸」の結果を使用しています。）

親潮：親潮の本流（O1：流速30～50cm/s程度（100m深））は根室の沖合を南西に流れており、そこから十勝沖を通り、襟裳岬の南（41°N付近）まで到達しています（図1）。勢力としては親潮の本流が根室沖までも到達していなかった昨年（2016年）に比べると強めです。南下した親潮は南の観測海域外で反転し、42°N以南の145°E以西で水温前線（親潮前線）に沿った40～50cm/s程度の東向きの流れ（RO1）を形成しています（図1、2）。

暖水：現在、日高湾に津軽暖流水が張り出しており、渦モードに移行中です。道東太平洋には暖水は分布していません（図2）。

今後の見通し：現在、親潮は道東太平洋沖を順調に流れており、41°Nよりさらに南まで親潮水が分布しています。昨年のように（2016年8月の海況速報参照）親潮の南下を阻む暖水塊が道東太平洋に存在しないため、今後も親潮は順調に流れると考えられます。

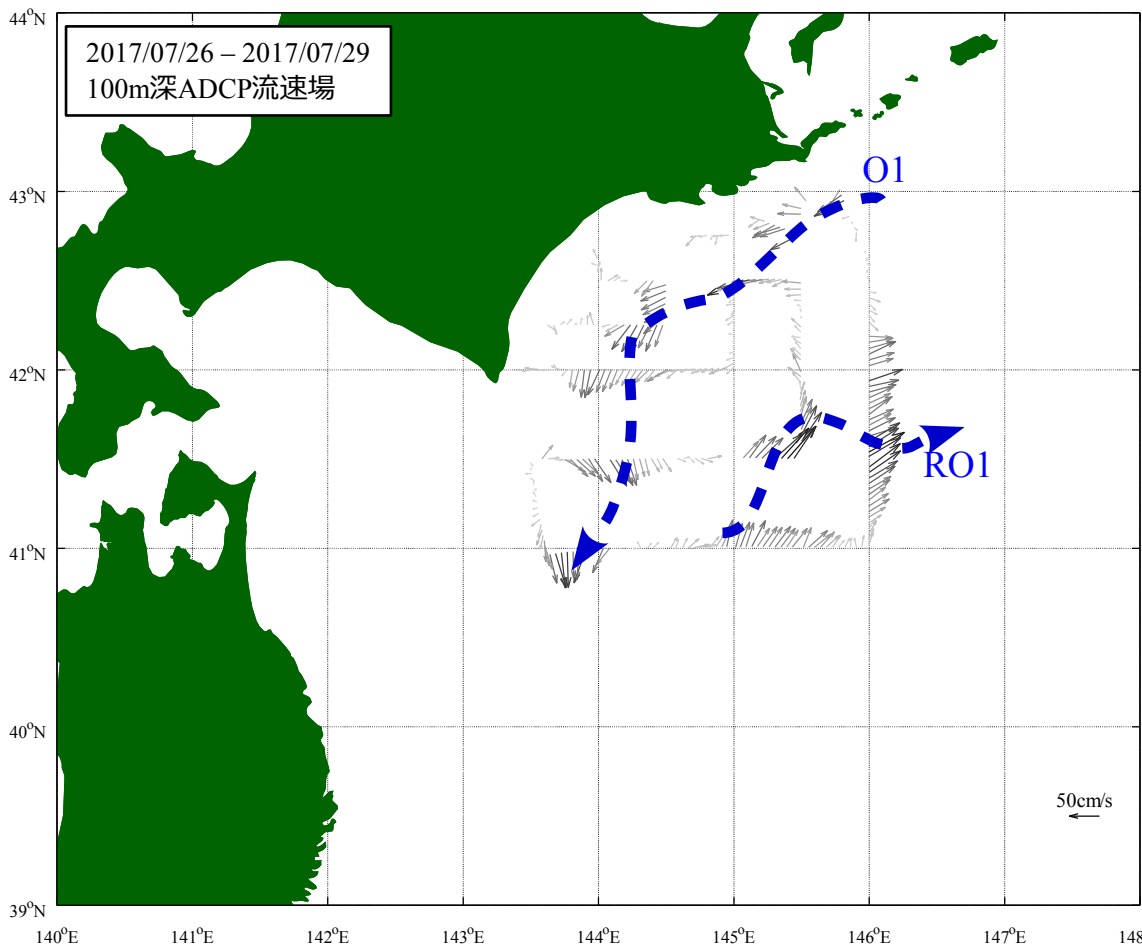


図1 ADCPによる100m深の流速場と模式図。実線矢印は向きでその場所の流向を、長さや色の濃淡が流速を表す。点線矢印は推定された親潮（青）の流れの模式図

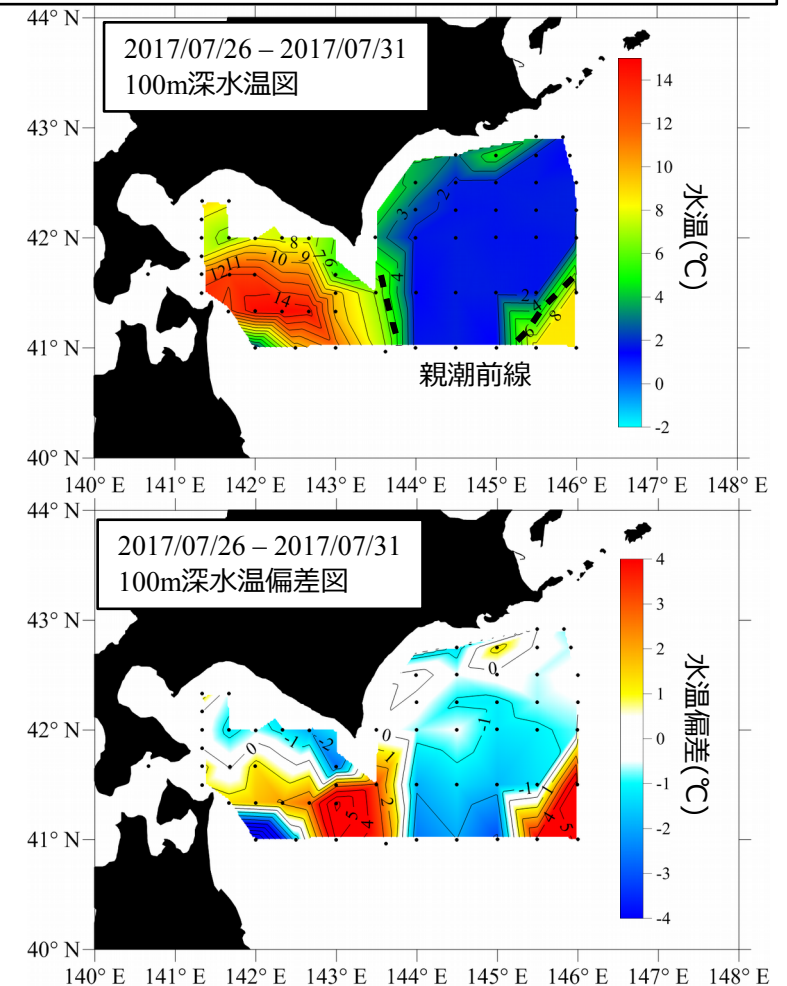


図2（上）100m深水温図
（下）100m深水温偏差図（1989～2008年平均からの差）